

令和3年度

# 学校評価

〈実施期間〉

学校評価委員会 R.4.2.18~3.4



都留市立都留文科大学附属小学校

## 学校関係者評価

都留文科大学附属小学校

2月17日（木）に予定していた学校評価委員会は紙面開催とした。学校評議員及びPTA役員に対し、学校評価について資料を提示し、ご意見を募ったところ、さまざまな意見をいただいた。これからの教育活動に反映していきたい。

### 1 自己評価・保護者アンケートに関わって

・資料を提示し、3つの観点でご意見を募ることを文書にて知らせた。

- ①自己評価の結果について
- ②保護者アンケートについて
- ③その他 本校の教育活動について

### 2 寄せられたおもな意見

#### ① 自己評価の結果についてのご意見

- ・コロナ禍2年目を迎え、結果は良い方向に伸びているとみられる。先生方の自分に対する結果は、慎み深く上品な心が見られる。これも、児童には良い影響を与えているのだと思う。
- ・自己評価については、各教師の取組など、昨年度と比べると多少なりとも上がっている。コロナ禍の中、全ての課題に一生懸命取り組んでいることがうかがえる。少ない児童数で大変なこともあると思うが、まわりから見てもっともっと魅力ある学校になるよう期待する。
- ・校務分掌における先生方の負担は大変な業務として感じている。少人数校であり、コロナ禍の中で更に負担になっているが、ご努力が附属小・保護者の支え、児童への導きとなっていることは学校評価の中で示されている。考察にもあるが丁寧な対応や目的を明確にし、1つのチームとなる信頼関係が見受けられた。行事などに関しても工夫がされ、個の指導から集団へつながっていく気持ちに心が感謝で満たされた。
- ・全体として、どの項目も自己評価が昨年度に比較して高く先生方の熱心な指導と工夫がうかがえる。コロナ禍で保護者や地域と連携を深めることができずに大変残念だが、仕方ない部分だと思う。

#### ②保護者アンケートについてのご意見

- ・コロナ禍の中、学校と接する機会が少ないと思われるが各項目が昨年より良くなっていると思われる。アンケートを見るとほとんどの保護者は高評価なので学校、教師への期待がうかがえる。子供については学校がすべきこと、家庭で親がしつけることがある。来年度も今年度以上に良い結果になるよう期待する。
- ・全体として評価は上がっているとみられる。コロナ禍の中、あちらを立てればこちらが立たぬがあると思うが、バランス良くお願いしたい。
- ・肯定的な回答は、子供たちから親へとつながっていった結果と思う。一人一人に向き合ってください先生方に、子どもたちは学び、親も学ばれたかと思う。子どものできることを伸ばして更に声かけがあったようである。多くの人たちの力を借りて見守られてきたこと、真剣に向き合ってくださいことを子どもたちも理解していると思う。社会に出て行く子どもたちのためにさま

ざまな苦勞をされ叱咤激励する姿を保護者も理解していたようだ。

- ・学校についてほとんどの項目で昨年度より高評価になっていて、保護者からの評価が適切にされているのかと思う。コロナ禍も2年目となり、ある程度は現状認識もできているのかと思う。
- ・教師についてはAが増えていて、先生に対する信頼が増しているように思われる。日々の積み重ねが大切なので高評価なのは素晴らしいことと感じる。

③その他 本校の教育活動について

- ・この2年間は校長先生のお便りと登下校で見かけるのみ、早く日常が戻って欲しいです。
- ・校長先生にご苦勞いただいた水路に蓋をかける工事も完成が近づいている。安全で使いやすい道路になり、感謝いたします。
- ・当小学校でも児童数が減少しているが、その中で校長先生をはじめ先生方が一生懸命努力されていると思う。
- ・コロナ禍にあり、これからも工夫された対応はさらにつづけられ、まとめにあるように子どもたちが楽しく学べる学校を継続し、地域と共にある学校であって欲しいと思う。
- ・コロナ禍で地域との繋がりが減り、大変残念だ。学校へ行く機会がほとんどなくなってしまい、子どもたちの様子もわからないが、今回学校評価を拝見し、先生方の努力が子どもをとおして保護者に届いているのかなと感じて安心した。仕事量が増えていることと思うが、子どもたちのために是非これからもよろしく願いいたします。